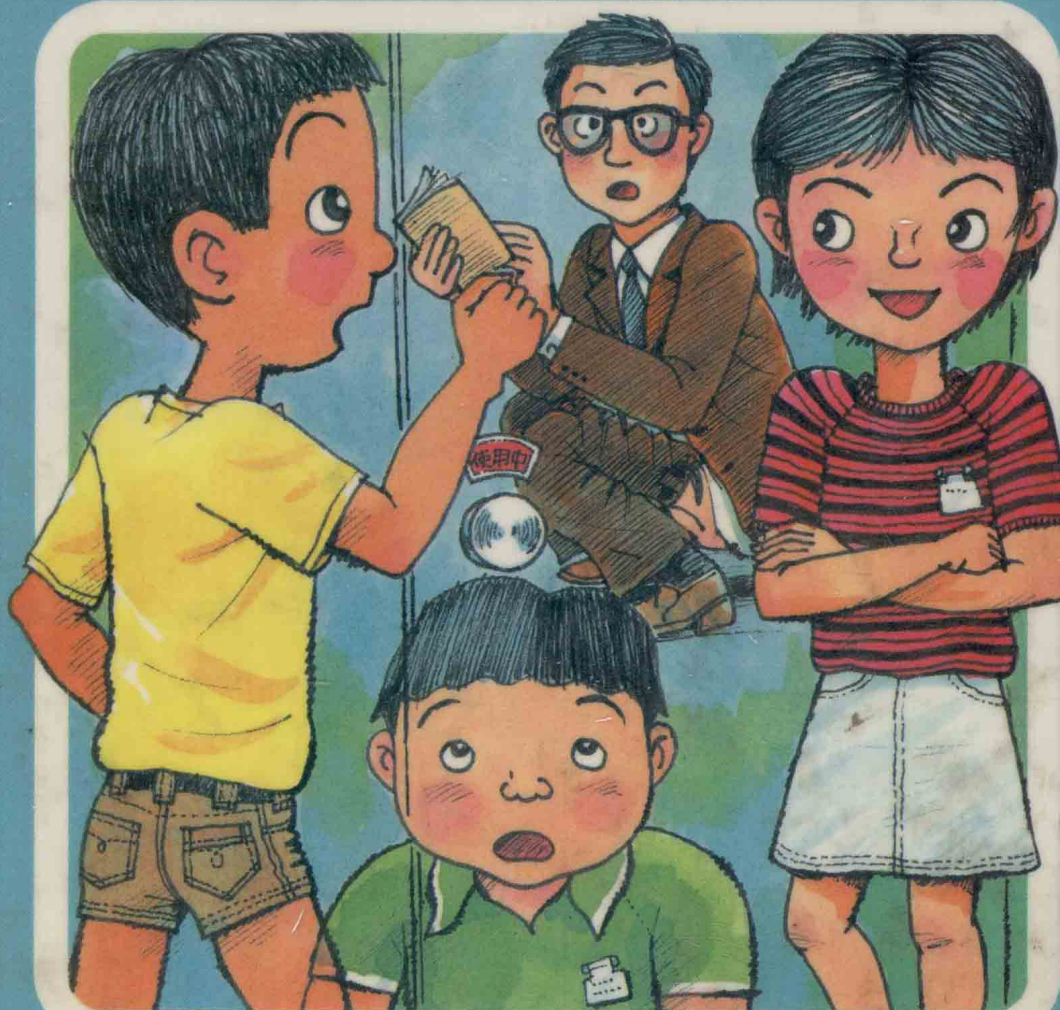


ガリベン先生、 がんばれ!

後藤竜二・作 高橋 透・絵



913

後藤竜二

ガリベン先生，がんばれ！

講談社 1983

93p 22cm (講談社の新創作童話20)

ガリベン^{せんせい}先生，がんばれ！

定価650円

昭和58年9月25日 第1刷発行

作者 後藤竜二

画家 高橋透

装丁 広瀬 郁

発行者 山本康雄

発行所 株式会社 講談社

東京都文京区音羽2-12-21 郵便番号112

電話 東京(03)945-1111 (大代表)

振替 東京8-3930

印刷所 凸版印刷株式会社

製本所 黒柳製本株式会社

© 後藤竜二・高橋透 1983 Printed in Japan

落丁本・乱丁本は、ごめんどうですが、小社書籍製作部あてにお送りください。送料小社負担にておとりかえいたします。(見一)

ISBN4-06-144270-8 (0)

ベン先生、 がんばれ!

後藤竜二・作 高橋 透・絵



講談社の新創作童話 20



もくじ

- 1 ぼくはびくびく……4
- 2 ガリベン先生せんせい、大おおはりきり……15
- 3 やったぜ！ ハーコ……28
- 4 みんないらいら……46
- 5 白田しろたくんの意見いけん……65
- 6 がんばれ、ガリベン先生せんせい！
……78

1 ぼくはびくびく

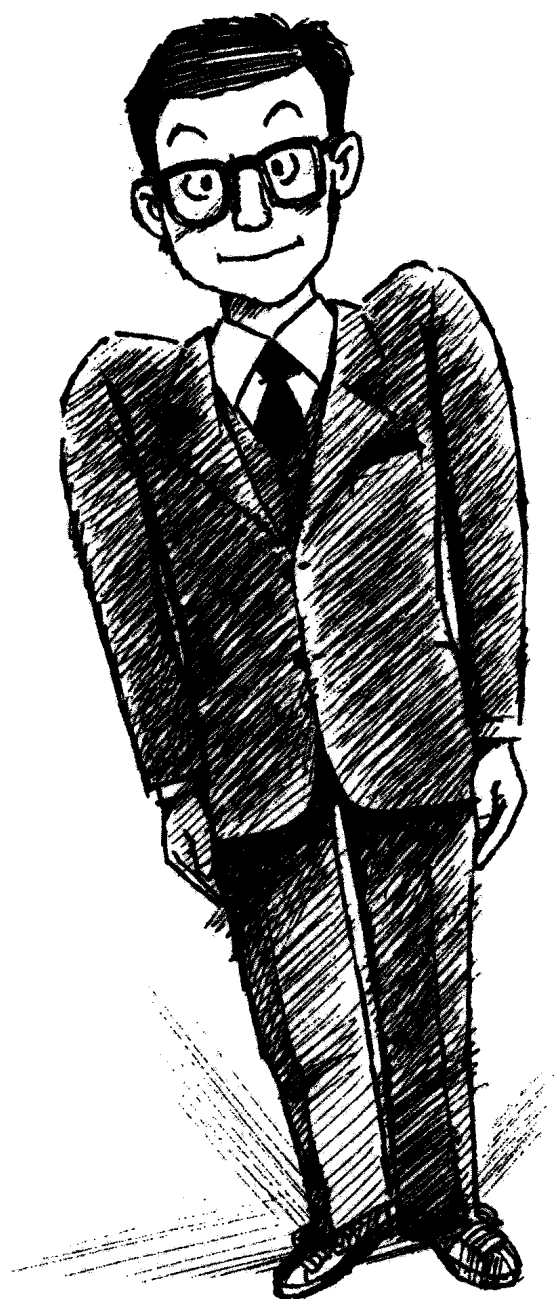
四年生ねんせいになった。

組ぐみはかわらなかつたけど、先生せんせいがかわつた。

三年ねんのときのおばあちゃん先生せんせいは、ほかの学校がっこうにいつてしまつた。がっかりだつた。

あたらしいぼくらの先生せんせいは、大学だいがくをでたばかりの東勉先生あすまつとむせんせい。黒くろぶちのめがねをかけて、子どもつぽい顔かおをした先生せんせいだ。

始業式しぎょうしきの日ひ。



東^{あづま}先生^{せんせい}は、三^{みつ}つぞろいのせびろで、びしつときめて、
「勉強^{べんきょう}ほど、おもしろいものはありません。勉強^{べんきょう}第一^{だいいち}で、ば
りばりやります。」
と、こちんこちんになって、あいさつした。

(こわい先生せんせいでなければいいな……。)

と、ぼくはびくびくしていた。

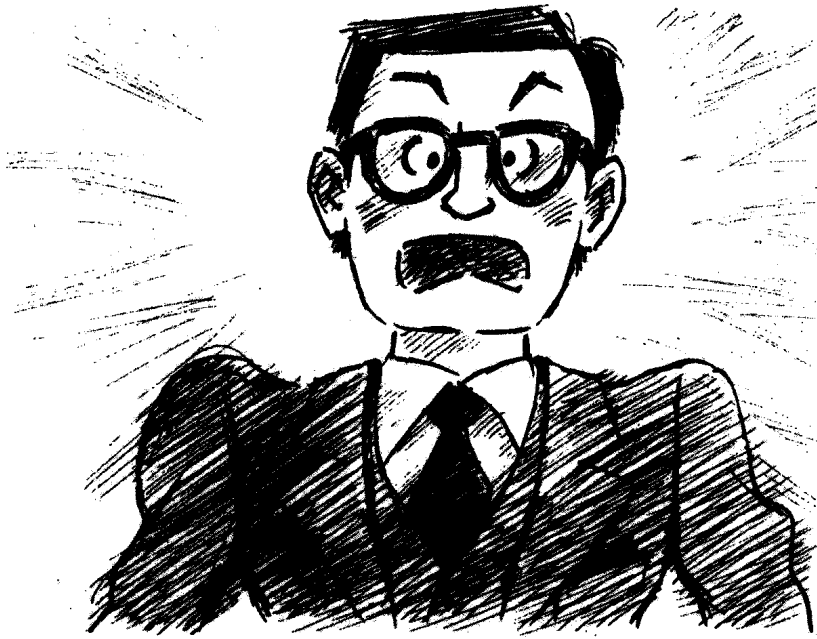
(おにいさんみたいな先生せんせいだから、きつと、ぼくらといっしよに、カちからいっばいあそんでくれるな……。)

と、かつてに思いこんでいた。

ところが、ぜんぜん、ちがった。

一週間しゅうかんたつても、東先生あづませんせいは三つぞろいのせびろで、こちんこちん。

時間表じかんひょうのとおりに、びっしり授業じゆぎやうをして、授業じゆぎやうがおわるとすぐに、さあつと教室きやうしつからきえてしまう。じょうだんもいわない。ぼくらといっしよにあそぶどころか、教室きやうしつにのこつて



おしゃべりすることもない。

五分^{ふんやす}休み^{やす}だつて、職員室^{しやくいんしつ}にか

えつちやう。

音楽^{おんがく}はまあまあだけど、+

工^{こう}はひどくぶきつちよだし、

体育^{たいいく}もなんだかぎくしやくし

てるから、ぼくら、くすくす

わらつたことがある。すると、

先生^{せんせい}はまっかになつておこつ

た。

そのころから、ぼくらも、

だんだんわらわなくなつた。

(へんな先生せんせいにあたつちやつたな。)

と、ぼくは不安ふあんになつた。

おかあさんは、ちがつた。

はじめての父母会ふぼかいからかえつてきて、

「ねっしんない先生せんせいじゃない。勉強べんきやう第一だいいちですつて。たのもしいわ。」

と、にこにこしてた。

ぼくは、ますます不安ふあんになつた。

おかあさんが、「いい先生せんせい」というのは、たいていスバル

タ先生せんせいのことだ。——ちびのころから、スイミングスクール

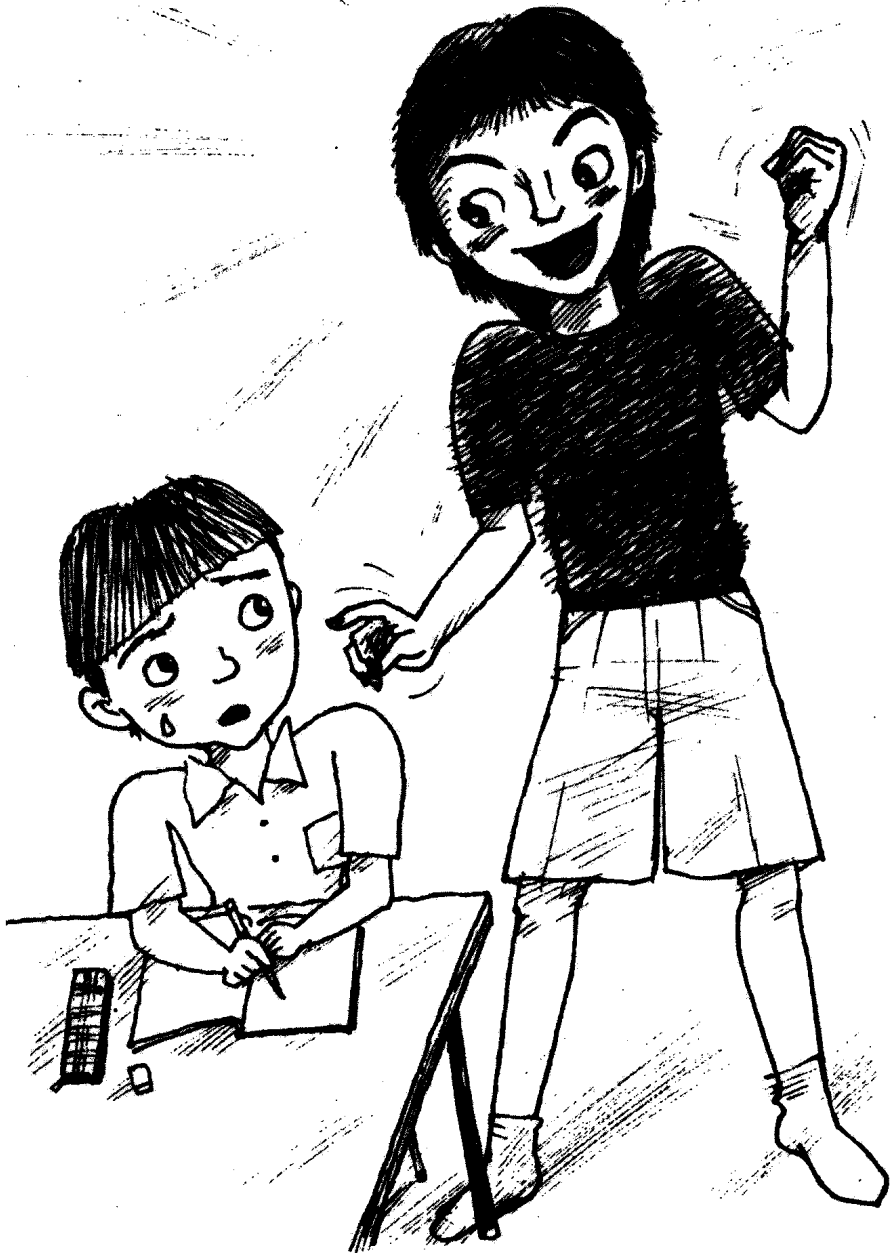
や、算数とか英語のじゆくにいかされていたから、よくわかつてる。

スパルタ先生というのは、自信満々って感じで、びしびししごく先生のことだ。しごかれると、ぼくはおどおどして、すぐべそかいちやうようなくずだったから（いまも、そうだけど）、スパルタ先生はきらいだった。

三年の夏までかよつてた算数じゆくの先生が、とくにきびしかった。わかい女の先生だったけど、ちようスピードで問題をやらせて、できないと、

「ファイト！」

なんていって、にこにこしながら、マニキュアしたつめで、



ぴじつと鼻はなの頭あたまをはじかれた。あれ、きくんだよね。頭あたまがくらくらして、ぼろぼろ、なみだがでちやう。ぐずぐずしてる
と、

「男おとこでしょっ！」

と、またやられる。みんなには、わらわれるしね、ないしょ
だけど、あのころ、ぼくはよく、おねしょをした。

「なさけない。」

とかいって、おかあさんは、おばあちゃん先生せんせいにそうだんし
た。

「もつと、のびのびそだてましようよ。」

と、おばあちゃん先生せんせいがいつてくれて、おとうさんも、

「すきにやらせろ。」

と、あつさりいってくれたから、ぼくは算数^{さんすう}じゆくをやめることができた。(おねしょも、ぴたつととまった。)

そのころから、おかあさんは、ぼくをしごくのをあきらめ
たみたい。

ぼくは、ほかのじゆくもすっかりやめちゃって、わりばし
と、しゆんかんせつちやくざいで、おしろやうちゆう船^{せん}のも
けいをつくることに、ねつちゆうするようになった。——お
ばあちゃん先生^{せんせい}が、図工^{ずこう}の時間^{じかん}におしえてくれたやりかた
だった。

三年^{ねん}の夏休^{なつやす}みの自由研究^{じゆうけんきゆう}でも、ぼくはわりばしをくみあわ



せて、電気スタンドをつくった。それが、市のてんらん会で銀賞ぎんしょうになったりして、ぼくはますます、わりばし工作こうさくにねっちゅうするようになった。

おばあちゃん先生せんせいは、ぼくの特技とくぎをはげましてくれたし、おかあさんも、もうじゆくにいけなんていわなかったから、この一年ねん、ぼくはほんとにしあわせな気分きぶんだった。

それなのに、東先生あづませんせいになったとたん、おかあさんはまた教育きょういくの本ほんなんか買かってくるようになって、へんにはりきりでした。——いやーな予感よかん。

2 ガリベン先生、大はりきり

いやな予感よかんは、あたたつた。

すこしずつ宿題しゅくだいがふえて、いつのまにか、あそぶ時間じかんもなくなつてしまつた。ぼくはわりばしで帆船はんせんをつくろうと思つおもているんだけど、なかなかすすまない。まじめに宿題しゅくだいをやつていたら、テレビをみる時間じかんだつてなくなつちやう。

宿題しゅくだいをやつていかないと、

「シヨツク療法りょうほう！」